

第34回 (2018)

京都賞記念講演会

The 2018 Kyoto Prize Commemorative Lectures

2018年11月11日(日)13時～

国立京都国際会館

先端技術部門 受賞者

カール・ダイセロス

脳の秘密を照らす光遺伝学
—単細胞藻類のタンパク質の研究から



基礎科学部門 受賞者

柏原 正樹

代数解析と50年

思想・芸術部門 受賞者

ジョン・ジョナス

イン・ザ・シャドウ・ア・シャドウ

■申込方法

京都賞ウェブサイト内の申込専用フォームに必要事項を入力のうえ、お申込みください
URL <https://www.kyotoprize.org/registration>

■お問い合わせ

稲盛財団 京都賞事務局 Tel 075-371-7744
京都賞ウェブサイトの「お問い合わせ」フォームからも承ります

■後援

京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・
京都商工会議所・大学コンソーシアム京都・京都新聞・朝日新聞社・
産経新聞社・日本経済新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・
共同通信社・時事通信社・NHK・KBS京都・エフエム京都

*講演タイトルは変更になる場合がございます

同時通訳/入場無料 定員1,500名(申込受付順)

■主催

人のため、世のために。
公益財団法人 稲盛財団

第34回 京都賞記念講演会

「京都賞」は1984年に創設された国際賞です。今年も先端技術、基礎科学、思想・芸術の3部門において、それぞれの分野を究め、科学や文明の発展、そして人類の精神的深化・高揚に著しく貢献した人々が受賞しました。世界の叡智が京都に集い、自らの研究エピソードはもちろん、わたしたちの目指すべき未来について語りかけてくれます。



先端技術部門 受賞者

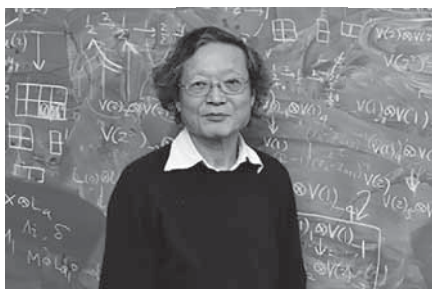
カール・ダイセロス

Karl Deisseroth

神経科学者 / アメリカ
スタンフォード大学 教授
ハワード・ヒューズ医学研究所 研究員

光遺伝学の創成と因果関係を証明する システム神経科学の展開

緑藻類の光依存的イオンチャンネルであるチャンネルロドプシンに着目し、ミリ秒単位で神経活動を光で制御できる方法を開発し、新たな学問領域「光遺伝学 (Optogenetics)」を創成した。これにより、システム神経科学に神経集団活動と脳機能の因果関係を証明可能とする方法論を与え、大きな変革を引き起こした。



基礎科学部門 受賞者

柏原 正樹

Masaki Kashiwara

数学者 / 日本
京都大学 数理解析研究所 特任教授

現代数学諸分野への多大な貢献： D加群の理論の基礎からの展開

D加群の理論を確立し、代数解析学の構築に決定的な役割を果たした。特にその展開において、リーマン-ヒルベルト対応の確立と表現論への応用、結晶基底理論の構築をはじめとした多くの業績により数学の諸分野にわたって影響を与え、その発展に大きく貢献している。



Photo by Moira Ricci

思想・芸術部門 受賞者

ジョーン・ジョナス

Joan Jonas

美術家 / アメリカ
マサチューセッツ工科大学 名誉教授

パフォーマンスとニューメディアを 融合させた新しい芸術表現の先駆者 であり、50年にわたり現代美術の 最先端を走り続ける芸術家

パフォーマンスとビデオアートを融合させた新しい表現形式を創始し、進化・洗練させることで現代美術の最先端を走り続けてきた。観る者に多様な解釈を許す迷宮的な作品によって、1960年代アヴァンギャルドの遺産をポストモダン芸術の枠組みへ発展的に継承し、後続世代へ多大な影響を与えてきた。